

2018年12月20日

報道資料

～米国で開催される世界最大のコンシューマー・エレクトロニクス見本市～
「CES 2019」に出展

パイオニア株式会社の米国販売子会社である Pioneer Electronics (USA) Inc.は、2019年1月8日(火)～11日(金)に米国ネバダ州・ラスベガス市で開催される、世界最大のコンシューマー・エレクトロニクス見本市「CES 2019」に出展します。

車室空間における『総合インフォテインメント』のリーディングカンパニーを目指す当社のブースでは、自動運転社会に向けて当社が開発を進めているさまざまな先進技術や、テレマティクスサービスの取り組みなどを展示します。

【「CES 2019」概要】

開催期間 : 2019年1月8日(火)～11日(金)

公式サイト : <http://www.ces.tech/>

パイオニアブース : ラスベガスコンベンションセンター 北ホール 3902 番ブース

出展者 : Pioneer Electronics (USA) Inc.

【主な出展内容】

1) 「3D-LiDAR センサー」など、自動運転に向けた取り組み

今年9月より提供を開始している MEMS[※]ミラー方式の「3D-LiDAR センサー」3種4モデルに加え、「周辺環境認識」アルゴリズムや、地図の生成などに必要な「自車位置推定」アルゴリズムについて、デモンストレーションやビデオ映像を交えて紹介します。

また、ルネサス エレクトロニクス株式会社の車載情報システム向け SoC「R-Car」を使用した、カメラと LiDAR のセンサーフュージョンのデモンストレーションのほか、2019年以降に提供を予定している「3D-LiDAR センサー」の新モデルのモックアップも展示します。

※MEMS(Micro Electro Mechanical System):微小電気機械システム

2) 欧州での自動車保険向けテレマティクスサービス(参考出品)

IoT デバイスとデジタル地図データを組み合わせた先進運転支援システムを参考出品するとともに、欧州における自動車保険向けや業務車両向けのテレマティクスサービスの取り組みを紹介します。

3) コンセプト・コックピット(参考出品)

完全自動運転(自動運転レベル5)での快適な移動空間を体験できます。車室内空間全体を活用した映像や音による情報提供や、それらをリラックスした状態で操作できるデバイス[※]、生体センシング・フィードバックなどの多様なHMIを提案します。

※サイプレスセミコンダクター社との共同開発



【コンセプト・コックピットのイメージ】

4) 最新のカーエレクトロニクス製品

クルマの接続化を実現する最新のメインユニットや、ハイRez音源対応など高音質化を実現する製品に加え、ボートなどクルマ以外の乗り物向けの耐候性型オーディオ、スピーカーを展示します。

また、米国市場向けとして当社初となる安心・安全なカーライフを実現する接続ソリューションも紹介します。

5) “ペダリングモニターシステム”第三世代モデル（サイクルスポーツ製品）

2018年11月に発売したペダリングモニターセンサーと、2019年1月に発売するGPSサイクルコンピューターの新製品を展示。ペダリングを可視化することで、サイクリストのトレーニングをサポートします。